

科目名称	成人看護援助論 - 1 (慢性期)
授業コード	BK216
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	大釜 信政, 寺門 亜子, 川副 樹, 武田 清香, 清野 純子, 石渡 智恵美
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	慢性・長期的疾患に伴う身体的・精神的・社会的特徴を理解することに加え、慢性・長期的疾患をもつ人とその家族に対するセルフケア向上のための理論とその利用方法、援助方法の実際について教授する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	当該科目を担当する全教員が、医療機関における看護経験を有している。その経験も踏まえながら、慢性・長期的疾患をもつ人とその家族に対する看護の実際について教授する。
到達目標	この科目は、「看護援助の方法」に関する科目の一つである。本科目は、カリキュラム・ポリシーに掲げる「看護学としての専門知識・技術を学び、論理的思考を修得するため、看護の基本、看護援助の方法、看護の実際、看護の発展科目を配置する。」に基づいて、ディプロマ・ポリシー「高度化・複雑化する医療に対応し、看護実践する専門知識・技術を有している。」を目指し、以下の4つを達成目標とする。 1. 慢性・長期的疾患をもつ人の健康状態の特徴について多面的に述べるができる。 2. 慢性・長期的疾患をもつ人の家族の状況について述べるができる。 3. 慢性・長期的疾患をもつ人に必要とされる看護の実際について理論を踏まえて述べるができる。 4. 慢性疾患をもちながら生活する人の倫理的諸問題について述べるができる。
計画・内容	1.オリエンテーション/慢性期疾患を有する人とその家族の理解、慢性期疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本 担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。 2.呼吸器系の障害を有する人とその家族への看護（慢性閉塞性肺疾患）担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。 3.循環器系の障害を有する人とその家族への看護（不整脈）担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。 4.循環器系の障害を有する人とその家族への看護（ペースメーカー装着患者）担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。 5.循環器系の障害を有する人とその家族への看護（虚血性心疾患）担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。 6.循環器系の障害を有する人とその家族への看護（慢性心不全）担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。

計画・内容	<p>7.消化器系の障害を有する人とその家族への看護（肝硬変）担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>8.代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への看護(糖尿病・インスリン療法) 担当：大釜、看護師 予習：教科書教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>9.代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への看護(血糖自己測定演習オリエンテーション) 担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>10.技術演習（血糖自己測定） 担当：大釜・寺門・新任教員・清野・石渡・川副、看護師 註)指定された時間までに、演習を行う実習室に集合すること。 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、自己血糖測定についてノートにまとめる。</p> <p>11.腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への看護(慢性腎不全) 担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>12.がんを患う人とその家族への看護（化学療法） 担当：寺門、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>13.がんを患う人とその家族への看護（放射線療法） 担当：寺門、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>14.血液・免疫系の障害を有する人とその家族への看護（急性骨髄性白血病） 担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p> <p>15.血液・免疫系の障害を有する人とその家族への看護（関節リウマチ）/まとめ 担当：大釜、看護師 予習：教科書を用いて講義に関連する内容を読み込む。 復習：教科書や講義資料等を活用し、関連内容についてノートにまとめる。</p>
授業の進め方	生体機能学、病理学、病態治療学、臨床薬理学などの専門基礎科目を理解していることを前提に、代表的な慢性・長期的疾患の病態、治療、看護について教授する。
能動的な学びの実施	自己血糖測定演習ののち、レポート課題の提出が1回含まれている。
授業時間外の学修	予習は各回1時間程度、復習は各回1～2時間程度行うことが必要である。 定期試験や臨地実習で活用できるよう、これまでの授業資料および自作の復習ノートも作成すること。
教科書・参考書	指定教科書：成人看護学 慢性期看護，鈴木久美、旗持知恵子、佐藤直美編集，南江堂（改訂第4版） *参考文献：生体機能学、病理学、病態治療学、臨床薬理学の教科書や資料
成績評価方法と基準	・成績評価方法と基準 定期試験（80％）、レポート（20％）
課題等に対するフィードバック	必要に応じてリアクションペーパーの内容を授業に反映させる。

オフィスアワー	CampusSquareを参照 本科目講義終了後やメール等で、適宜、質問を受け付ける。
留意事項	定期試験の受験資格や単位認定の条件として、総授業時間数の3分の2以上の出席が必要になる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 定期試験（80%）、レポート（20%）